



多文化社会学部

長崎大学

Nagasaki University
School of
Global Humanities
and
Social Sciences

オランダ特別コース

注

目のオランダ特別コースの詳細は、この春に長崎大学に着任した木村直樹先生にお伺いします。

「まず、どうしてコース名に“特別”が付いているかということからお話ししましょう。通常、大学には学問領域というものがありません。どのような学問の手法に基づいた学びなのか、これは言ってみれば料理方法のようなもの。ある一定の素材を揚げるのか？ 蒸すのか？ 炒めるのか？ その方法を学ぶのです。ところがこのコースの場合、“オランダ”という国、文化圏に特化しているのが最大の特徴で、学問領域がない。つまり料理方法ではなく料理の素材にこだわったコースなのです。このようなスタイルのコースは他大にもあるのでしょうか。

「アメリカなど日本でないじみのある地域を中心に学ぶコースをもつ大学はありますが、ヨーロッパを対象とするものは少ないですね。ましてオランダに限って言えば、日本の大学で唯一と

〈オランダ〉という素材にこだわった

世界でも珍しい特別コース

ライデン大学への長期留学も魅力

Interview



木村直樹

Kimura Naoki

長崎大学多文化社会学部設置準備室 准教授 1971年東京都生まれ。博士(文学)。専門は日本近世政治外交史。主な著書に『幕藩制国家と東アジア世界』(吉川弘文館)、『(通訳)たちの幕末維新』(吉川弘文館)などがある。

Column

オランダ語
モジュール

このモジュールは、「オランダ語Ⅰ〜Ⅲ」の三科目六単位から構成されており、オランダ特別コースの学生は必修です。初級レベルの講義である「オランダ語Ⅰ」では、基本の文法を会話に取り入れることで、自然にオランダ語の文法を身に付けることを目指します。中級レベルの「オランダ語Ⅱ」では、初級で身に付けた聴く・話す・書く力に加え、長文の読解や作文にも取り組みます。「オランダ語Ⅲ」では、さらに講義のレベル

を上げ、ライデン大学への留学準備をします。これらの講義では、言語の習得に終始することなく、広くオランダの文化等を紹介する予定です。

一年半の語学学習でオランダの大学の講義に付いていけるか不安に思う人もいるかもしれませんが、留学中もオランダ語の語学授業があり、またライデン大学で受講する専門科目講義の多くは英語で開講されます。ただ、留学生生活はキャンパスの中だけで送るものではありません。このモジュールを受講することにより、オランダ語で日常会話ができ、辞書を使ってオランダ語の新聞を読めるようになっておけば、オランダでの留学生活は、より一層充実したものとなるでしょう。



Message



ラーデインク・ファン・フォレンホーヴェン
オランダ大使

日本におけるオランダ学の重要な拠点として

オランダ政府が海外でのプロモーションに使用するスローガンの一つは、「国際ビジネスの先駆者オランダ」です。やや大きさに思われるかもしれませんが、オランダと長崎の豊かな歴史を見れば、実際それが大いに真実であることがわかります。400年前、オランダ人は既に国際化の必要性に気づき、遠隔地との取引に世界中へ向向いていきました。そして、たどり着いた場所の一つが日本でした。



1600年の「リーフデ(慈愛)」号の漂着は、日本とオランダのたぐいまれな関係の始まりとなりました。日本が鎖国状態の間も、オランダ人は西洋人として唯一日本での滞在を許可され、交流は続きました。出島でのオランダ人の存在が独特であったことから、オランダ人と日本人の関係は取引にとどまりませんでした。この小さな島を通して、たくさんの西洋の知識や学問が日本に入り、その結果、オランダ人は、オランダ語とともに、日本の近代化の基礎を築く上で重要な役割を果たしました。200年以上もの間、日本における西洋の知識が全てオランダ語を通して吸収されたことは驚くべきことです。

このようなオランダと日本の長く、豊かな歴史からすると、これまでオランダとオランダ語に関する本格的な講座が日本になかったことは全く意外です。したがって私は、長崎大学の多文化社会学部の開設と、その中のオランダ特別コースの開講を大いに歓迎します。オランダと長崎大学の深い関係を考慮すると、このコースを開講するのに、これ以上の最適な場所はないと考えています。そして、それが日本におけるオランダ学の最も重要な拠点に発展していくことを願っています。

なぜオランダから始めるのでしょうか。「オランダを学ぶことの意義は三つあります。私は日本史、それも江戸時代の外交史が専門なのですが、江戸時代から近代にかけて、日本はオランダを経由して西洋の文化や知識を吸収してきました。その歴史を踏まえてオランダを知ることで現代の日本の立ち位置を見る目が養われます。二つ目は、オ

ランダという国はヨーロッパのなかでも比較的小さく把握しやすいので、オランダを出発点にして、ヨーロッパのエキスパートを目指すことができる点です。三つ目は、現代のオランダは、実験国家としてさまざまな課題に大胆な政策を打ち出していることです。移民政策、安楽死、ワークシェアリングなど、まさに課題先進国家。その動きを知ることが、日本社会が近未来で直面する問題に対峙したときに役に立つ。いずれも、日本においてはなかなか身に付かない、外からの視点を鍛えることにつながります」。

なるほど。日本やヨーロッパを理解する手がかりとしてのオランダなのですね。では、留学前に、日本でどのような講義を受けるのでしょうか。

学ぶ科目

- オランダ語Ⅰ
- オランダ語Ⅱ
- オランダ語Ⅲ
- オランダ現代社会論
- オランダ文化論
- 日蘭比較文化
- 日蘭交流史

オランダを入口に、そこから世界を学んでですね。